

救急・当直等

■GIO :

生命や機能的予後に係わる疾患や、緊急を要する病態や疾病、事態に適切に対応できるようにするために、救急医療システムや災害医療システムを理解し、救急患者や緊急事態に対する適切な対応・初期治療能力を身につける。

■SBOs :

1. バイタルサインの把握ができる。
2. 身体所見を迅速かつ的確にとれる。
3. 重症度と緊急度が判断できる。
4. 二次救命処置(ACLS) ができ、一次救命処置(BLS) を指導できる。
5. 複数患者搬入時の際、重症度による治療優先順位を判断できる。
6. 大災害時のトリアージについて説明できる。
7. 各種検査の立案・実践・評価ができ、緊急度の高い異常所見を指摘できる。
8. 各種基本手技の実践ができる。
9. 頻度の高い救急疾患・外傷の初期治療ができる。
10. 重症患者の呼吸・循環管理を適切に行うことができる。
11. 医療用モニターの測定原理の理解・準備・測定値の評価ができる。
12. 各種人工呼吸器の保守・点検・設定ができる。
13. アラーム発生時対応ができる。
14. 各種基本呼吸器設定モードを理解している。
15. 患者にとって最適な人工呼吸器設定ができる。
16. 循環作働薬の特徴・臨床薬理を挙げられ、適応を判断し使用することができる。
17. 必要に応じて抗生剤の選択をすることができる。
18. 想定される合併症のリスク判断ができ、予防策を講じることができる。
19. 栄養投与経路を適切に選択できる。
20. 必要カロリー数・水分量・栄養素の組成を説明できる。
21. 中毒・環境起因疾患の治療を行うことができる。
22. 急変時チームリーダーの実践ができる。
23. 専門医への適切なコンサルテーションができる。
24. 患者の社会背景に留意することができる。
25. スタッフ(医師・看護師・コメディカル部門) と良好なコミュニケーションをとることができる。

■LS :

1. 救急外来での“On the job training (OJT)”が中心になる。
2. 指導医の指示に従い、チームの一員として患者の診療に当たる。
3. 救急カンファレンス等のカンファレンスに参加する。
4. 1年次：
 - ① 救急ローテーション期間中は、内科救急当番医、外科救急当番医などの指導医のもとで救急車搬入患者の初期治療にあたる。
 - ② 当直および日祝日の日直では、救急車搬入患者の初期治療に当直・日直の指導医とともにあたる。
5. 2年次：
 - ③ 当直および日祝日の日直では、内科当直医の指導のもとで初期治療にあたる。
 - ④ 小児科常勤当直時には小児科当直医指導のもとで小児科初期治療にあたる。

■Ev :

1. 自己評価：EPOCによる形成的評価
2. 指導医による評価：EPOCによる形成的評価と総括的評価
3. 看護部、コメディカル等による360°評価：独自形式による形成的評価